

衛星設計コンテスト実行委員会の林委員長が口火を切った後、事務局長を務める宇宙フォーラムの北原氏が資料 44-3(コンテストの結果)を 7 分弱で説明した後、5 分程の質疑応答があった。

池上委員長:有難う御座います。ご質問等御座いますでしょうか。

井上:あの、此れ用のあの、何て言うんでしょう、実現可能性みたいな部分で云うのは、評価の対象になって居るんでしょうか。

フォーラム北原:はい、特に「設計大賞」についてはですネエ、あのー、まあ、ピギーバックで打上げると云う事で、まあその重量、それから熱設計、それからまあ、電気設計ですネ、まあそう云う、後通信系も含めてですネ、実際に其れが衛星として成立してるかどうかと云う、まあ、そう云う意味では実現性と云う処を非常に重視した審査と云う様な形で行われております。

井上:そんな時にあのー、学生達で作れると云う様な事も考慮してるんでしょうか。

フォーラム北原:はい、ええ、そうですネ。基本的には矢張り学生がピギーバックで打上げて行くと云う事に繋がる様な道筋を付けたいと云う事で、まあ、審査の内容としても其れを中心に、まあ、「設計」の方は審査してるという形で御座います。で、「アイデア」の方はですネエ、あの、そう云う限定はして居りませんので、まあ例えば衛星が 50 キロじゃあ無くて、例えば何百キロと云う衛星の提案も、特に受け付けてて、

疎外はしてません。

井上:はい。

河内山:あの、良く知らないので教えて頂きたいんです。此れあの、賞金てのは出るんですか。

林委員長:いやー、其れは...

河内山:あの、其れはあの、特に「アイデア」部門は違うんですけども、あの、「設計」部門で云うのは、実際に完成度が高いものであれば、賞金制度ってのが有ると良いんじゃないかなと云う気がするんです。其れはその、全額出すって云う意味じゃあ無くてですネエ、部分的な支援が出来るという事で、その、完成度の高いものを作って、その作る時のアシストになると云う、アメリカ何かだと常識的に行われているんですけど、何とかプライズと云う形で、そう云う処まで行くともっとあのー、やる気が出て、皆さん頑張ってもらえないかと思うんですが、中々難しいのは分かってるんですけど...

林委員長:其れはあの、はい。色々議論は進めては居りますけれども、中々...

河内山:多分良い方向に...全額出すのは絶対問題だと思うんですけども、その、アシストをする、ブーストアップする位のレベルでやると非常に良いと云う...で、ホントはあの、ロケットなんかもですネエ、世界中で段々やられ始めてるんで、コンテスト増やしたら良いナと思ってるんですが、是非あの、衛星此処までやられてるんで、もっと活性化出来る様になって云う事で、色んな事考えて頂けると有難いナと思いま

す。

林委員長: はい、あの一、何とかそういう方向を探って行きたいと考えては居りますけれども、あの一確かに他所の国で行われてる此の種のステューデント・セッションで云うのは、賞金が出てる例は結構あるんですヨネ。日本だけ出て居りませんで、どうも其処は、エー、何とかしなければいけないとは思いますが。

池上委員長: 例えば JAXA の色々記念品が有りますヨネエ、ああ云うものは配ってるんですか？

林委員長: ア、その手の、(横を見て)何かあったネ。

フォーラム北原: あの一、記念品は配ってますが、あの、基本的にはやっぱり賞状とトロフィって云う形で、後あの、参加した学生にはですネ、記念品を色々配っては居ます。

森尾: 良いですか？あの一、いや、河内山さんの案、良いと思うけど、財源の問題だと思うので、例えばあの一、文部科学省の人に、隣に居られる、お願いしてですネエ、或るレベル以上のものが出来たら単位を認定するとかネ。学校の。云う風にすれば、もっと真面目に取り組む...此れはもう、卒業間際の人何か、単位を取らなくちゃいけない、此れもやんなくちゃみたいな状況でやってるんじゃないかと思うんです。

誰か: 成程。

林委員長: いや、其れはあの一、そう云うカリキュラムとの結合など、検討事項だろうとは思いますが。

池上委員長: あとアレですか、「はやぶさ」効果みたいなのはあつ

たんですか。

林委員長: 此の時期では...未だ、一寸時間がずれておまして...はい。

池上委員長: ああ、そうかそうか、やっぱどちらかって、宇宙ステーション効果の方が大きい訳ですネ。

林委員長: ...そう...でしょうかネエ。はい、あの一、確かにステーションをその一、視野に入れた脱臭装置とか何とか、色んなのもありますから、あの辺は割に普及している知識であろうかと思えます。

池上委員長: ウン、ウン。

フォーラム北原: あの一、今年度の応募作品見て頂くと分かるんですけど、割合あの地道な提案で云うんですかネエ、あの一、所謂科学観測だとか、それからまあブラックアウトの回避実験だとかですネエ、それからアイデアの方でもあの津波観測とか、電理研観測とかですネエ、比較的あの、地味なと言いますか、割合真面目な検討をされた提案が、今回は多かったと云う風に思います。

池上委員長: 他に...ア、それではどうも御苦労さまで御座いましたと云う事で、有難う御座いました。